

第1回天竜川ダム再編事業佐久間ダム環境検討委員会

議事要旨

日時：令和3年6月30日（水） 13：30～15：30

場所：浜松河川国道事務所 WEB

出席委員：板井委員、大場委員、川口委員、國領委員、杉野委員、高橋委員、道林委員、山田委員

1. 委員会設立趣旨・規約について

- 委員会設立趣旨、規約、公開方針等の委員会の進め方については、事務局の提示した内容で了解された。
- 規約に基づいて、板井委員が委員長、山田委員が副委員長に選出された。

2. 環境影響評価の進め方について

- 天竜川ダム再編事業の環境影響評価の進め方について、事務局の提示した内容にて了承された。
- 重要種への影響の程度については、30%を目安とするものの、影響評価や保全措置については専門の委員の意見を踏まえて検討すること。

3. 環境調査結果及び予測結果について

(1) 動植物

- 動植物の調査結果及び予測結果については、事務局の報告内容にて了承された。
- 環境調査において、漏れないよう、文献調査を行い補足すること。
- の は、沢だけでなく周辺の湧水の染み出しも生息環境としていることから、補足調査を実施したほうが良い。
- で確認された は、希少性が高く、まだ周辺に分布する可能性が考えられるので、補足調査を実施したほうが良い。
- 揚砂場周辺の沢水は、揚砂場の草地内に湿地を形成し、両生類の重要な生息環境となっていることより、このような環境の保全に配慮すること。

(2) 生態系

- 生態系の構成においては、植物を捕食からの食物連鎖にも留意して、植生が変化することによる影響、食物連鎖の枠に含まれない種についても留意する必要がある。
- 植物の捕食については、シカの食害の影響が多い地域でもあり、このような影響についても検討しておく必要がある。

(3) 水環境

○水環境の予測方針については、事務局の報告内容において了承された。

○工事に伴い、一時的にヒ素などの重金属の濃度が上昇することも考えられるため、工事中のモニタリングを計画的に実施すること。

(4) 景観・人と自然とのふれあい活動の場

○景観の調査地点、予測手法については事務局の報告内容において了承された。

○人と自然とのふれあい活動の場については、事務局の報告内容において了承された。

—以上—